
紅葉狩（もみじがり）の粗筋（あらすじ）

赏紅葉之故事梗概

戸隠山（とがくしやま）に住む美しい姫がいた。彼女の名前は更科姫（さらしなひめ）である。

戸隠山里，住着一位美丽的公主，名叫更科。

秋、さらしな姫は、召使いを連れて、山に入った。さらしな姫は赤くなった紅葉（もみじ）を眺めることが好きであった。

秋天，更科公主带着仆人到山中。她喜欢观赏红叶。

彼女は、召使いと一緒に宴（うたげ）を開いて、素晴らしい景色を楽しんでいた。秋の紅葉は美しい。

她和仆人一起开宴会，赏美景。秋季的红叶美不胜收。

偶然、平維茂（たいらのこれもち）という位の高い侍が、家来と一緒にさらしなひめの近くを通り過ぎた。

一次偶然的机会，一位名叫平维茂的身份尊贵的武士，和家臣一起，在更科公主附近路过。

さらしな姫の召使いが、平維茂（男性の名前・たいらのこれもち）を発見し、「一緒に美しい紅葉の景色を楽しみましょう」と誘いました。

更科公主的仆人看见了平维茂，于是邀请他共赏红叶。

維茂（これもち）は、さらしな姫と会い、そして、直ちに、さらしな姫の美しさに心を奪われました。

维茂一见到更科公主，就被她的美深深地吸引了。

「お酒を呑みましょう」とヒメに誘われた維茂（これもち）は、お酒を飲み過ぎて、眠ってしまいました。

“让我们畅饮吧！”公主邀请维茂。被邀请的维茂畅饮而醉，酣然入睡。

維茂（これもち）は、山のなかにいる、鬼女（きじょ、女の鬼）を退治せよ、という天皇からの命令を忘れて、深く眠ってしまいました。

維茂忘记了天皇交于他的，驱退山中女鬼的命令，熟睡过去。

維茂（これもち）が眠ると、姫も、ヒメの召使いも、姿を消した。

維茂刚入睡，公主和她仆人的身影便消失了。

維茂が眠っている時、武内の神（たけうちのかみ）が戸隠山に急いで向かっていた。

在維茂熟睡时，武内神急忙向戸隠山赶来。

八幡神（はちまんしん）は戦（いくさ）の神様である。この強い神様にしたがう神、それが武内の神である。

武内神正是遵从于强大战神八幡神的神明。

深く眠っている維茂の夢の中に、武内の神は現れて、維茂に警告した。

武内神现身于熟睡的维茂的梦境里，并警告他。

「あなたにお酒をのませた、美しいヒメとその召使いは戸隠山に住む鬼女だ。

请你喝酒的美丽公主和仆人，就是这戸隠山的女鬼。

このまま寝ていたら、鬼女にあなたは殺されるだろう。偉大なる八幡神（はちまんしん）の刀をあなたに渡す。この刀で、鬼女と戦いなさい。

倘若你一直睡下去，就会被女鬼杀掉。现将伟大的八幡神的神刀交予你。用这把刀和女鬼战斗吧。

夢から醒めた、維茂（これもち）は武内の神（たけうちのかみ）の警告を十分に理解した。

从梦中醒来的维茂，谨记武内神的警告。

神様から渡された刀を持つ維茂（これもち）は、戦う準備ができた。刀の名前は小烏丸（こがらすまる）という名刀であった。

接过神明赐予的神刀——kogaramaru, 维茂做好了战斗的准备。

維茂（これもち）は、激しく、鬼女と戦い、ついに勝利した。維茂は、戸隠山に住む鬼女を退治した。

经过与女鬼的激战，终于，维茂胜利了。他驱退了户隐山的女鬼。

維茂は、武内の神に感謝した。威力のある刀を渡してくれた、ハチマンシンにも感謝した。

维茂向武内神和赐予他神刀的八幡神，表达了感激之情。